

商工会報

# あち

第34号

発行 阿智村商工会  
43-2241  
編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)

## 繁栄の拠点に公園づくりを提言

駒場は古くから東山道や、中馬街道の宿場町として発展して来たが、国道バイパスの

「やすらぎ」といった心の充足をもたらす公園づくり。「ふれあい」といった地域住民の

憩いの場としての芝生広場で、住みたくなる町づくりを中心

いを取りもどしたいとする住民の願いをこめて、繁栄の拠点づくり『公園』を核とした、土地利用の基本計画が提案されています。早期実現を求めています。

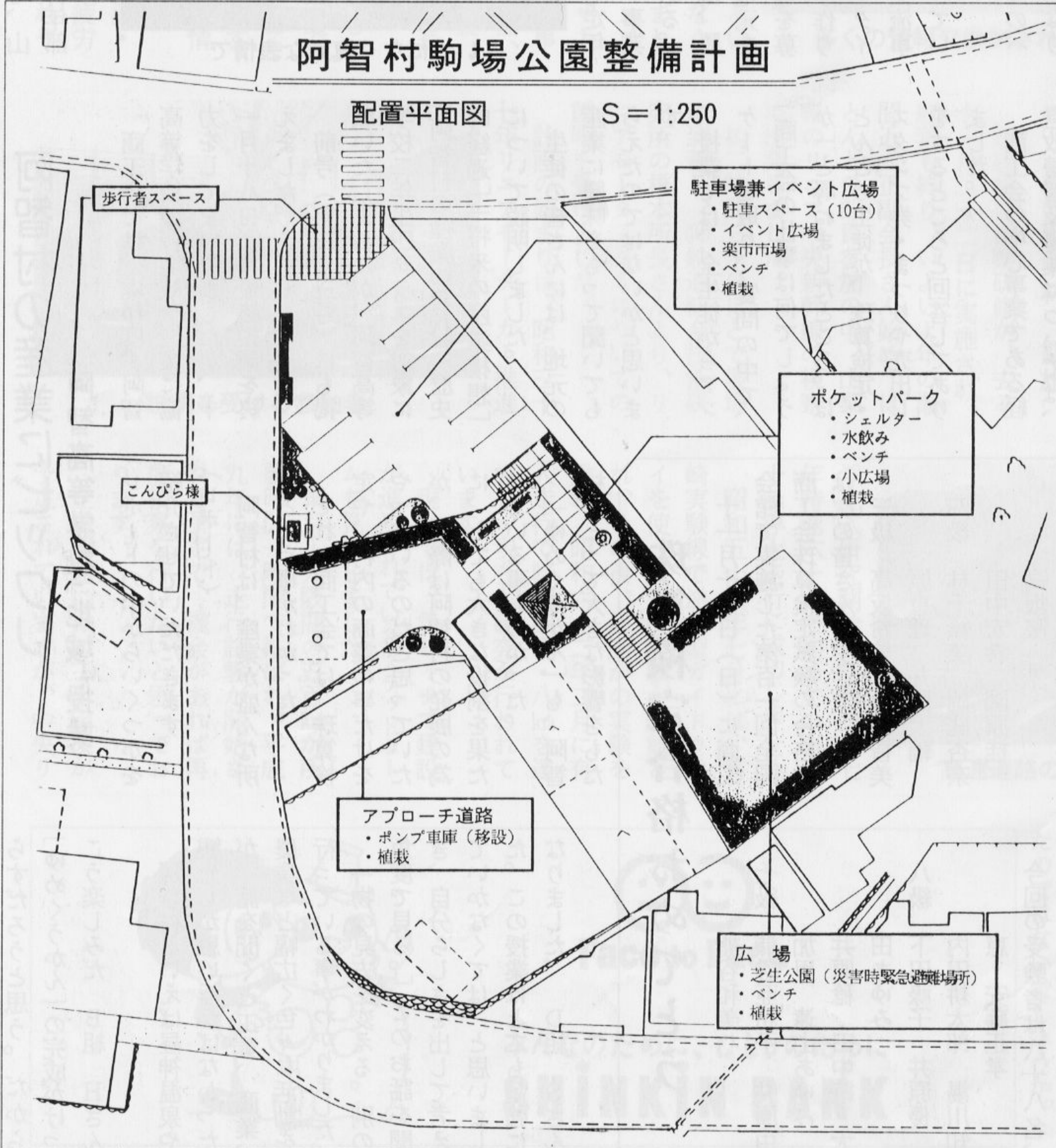
開通後は、商店の一部がバイパス沿いに移転したこともあって、地盤沈下が進み、ひなびた町に変わりつつあります。

このため、村ではこの町の活性化に役立てばと、中心地に土地を買収し、土地の有効活用について、商工会に調査研究を委託。これを受けて商工会では、地域住民を含めた「こまばまちづくり研究委員会」を組織し、研究結果を報告書にまとめ村へ提言しました。報告書では、地域の活性化や住民の生活機能の充実を前提として、『町の中心的役割を果たす施設づくり』を目的として、その必要施設として、「地域づくり・まちづくり」といったイベント広場・駐車場の設置。「うるおい・

### 阿智村駒場公園整備計画

配置平面図

S=1:250



### 青年部 実り多き 視察研修

副部長 田中克幸

十一月五・六日の両日にわたり青年部の視察研修が実施され、初日、二年ごとに開催されている「第三十一回東京モーターショー」を見学。

私自身、初めてのモーターショーで、「感じる夢、感じるクルマ」がテーマで、やはり安全性や限りある資源、地球環境などを考えた車が目に止った。

今後さらに伸びゆく車社会の中で、いかに私たちの環境が変わっていくのだろうか。

その後、今年渋谷の一角に全国各地の特産品を展示販売している「むらからまちから館」がオープンしたという事で見学した。

むらおこし事業等で生まれた特産品などを、月ごと商品替えてとてもユニークなかたちで販売していた。

翌日、朝食を兼ねて築地場外市場を視察した。

テレビなどで見た事はあったが、一度行って見たかった所もあり、中でも朝食をとった寿司屋では、さすが築地と唸らせる味と安さだった。

今回最後の研修として、山梨県の勝沼大和商工会青年部との交流会を行った。



いつになく真剣な表情で

今、どこの青年部でも定年制による部員の減少化、事業のマンネリ化が悩みである。

その悩みを打開する為、勝沼大和青年部が今年、地元をはじめ県内外より参加者を募り、特産品のぶどう菓子作りと後継者の嫁不足解消をテーマアップさせた「地域間交流事業」を行った話を聞かせていただいた。

この事業は、山梨県連のパワーアップ事業の対象となり助成金を獲得した。

私達も部員減少化の中で、村内の各種青年団体との交流を持ち、協力してイベントなどを開催し、地元ピーパーールを考えていきたい。

### 阿智村の産業にビックリ

#### 阿智高等学校「地域」授業

商工会では、本年度、阿智高等学校の「地域」授業に協力してまいりましたが、十一月十八日(土)に最終授業を終えました。

前号(第三十三号)にも掲載いたしました。阿智高等学校二年生四クラスを対象に「阿智村の産業の現状」「歴史の経過」「将来の産業構想」について説明しました。

生徒の皆さんには、地元の産業に興味をもって聞いてもらえたのではないかと思います。

授業では、全生徒からアンケートを取り、質問の中で、「商工会の仕事は何でしょう」と尋ねましたところ、ほとんどの生徒が、「珠算検定・スタンプ券・まつりや売出しをする」と回答してありました。

商工会の中心事業である経営改善普及事業については、まったく知らない様子でした。

そこで、二度目の授業から商工会の事業についても触れ大いに宣伝をし、施策普及にも役立ったと思います。

総勢百六十名の生徒さんの

レポートの中からいくつかを紹介させていただきます。(レポート)

阿智村は、産業が盛んな所だという事がわかった。

それに商工会では、珠算検定や、村内の商業の事だけがやっているのだと思っていたが、実際は阿智村の発展の為に、とても大きな役割を果たしている事もわかった。

「ゆめくうかん」も、阿智村にとって大きな影響をもたらすだろうと思う。だから「ゆめくうかん」の完成がけっこう楽しみだ B組 Hさん

阿智村といえば昼神温泉や観光しか思い浮かばなかったが、話を聞くと工業、商業、農業など幅広く色々な活動を行っている事がわかりました。

「物の見方を変える。別の角度で見る。」このお話を聞き、自分らしさを出して考えていかなくては、と思いました。この授業はとても勉強になりました。 D組 Sさん

### 珠算検定合格おめでとう

十一月十九日(日)に商工会館で実施した第百一回全国商工会珠算検定試験の合格者は次の皆さんです。

- 十一月十九日(日)に商工会館で実施した第百一回全国商工会珠算検定試験の合格者は次の皆さんです。
  - 一級 高坂希美 今井智美
  - 二級 原恵理 井原大輔
  - 三級 林千絵美 岡庭杏奈
  - 四級 田中宏希 園原桂
  - 高坂隆
  - 五級 下原かおり 原啓太
  - 安藤清次
  - 六級 高坂健司 井原章夫
  - 河合正俊 園原直樹
  - 佐々木超矢 佐々木隆太 菱田裕美
  - 熊谷和美
  - 七級 熊谷亜希子 井原由加里 遠山あゆみ
  - 井原稔 田中綾 太田あゆみ
  - 八級 下田祿子 井原優
  - 内田耕太郎 湯川知恵 安藤正孝
- 今回の受験者は八十八名、合格率は三五・二%でした。六級の佐々木隆太君は、満点合格でした。
- 次の検定試験は、平成八年二月十八日です。

シリーズ 我が家の秘蔵写真 第十九回

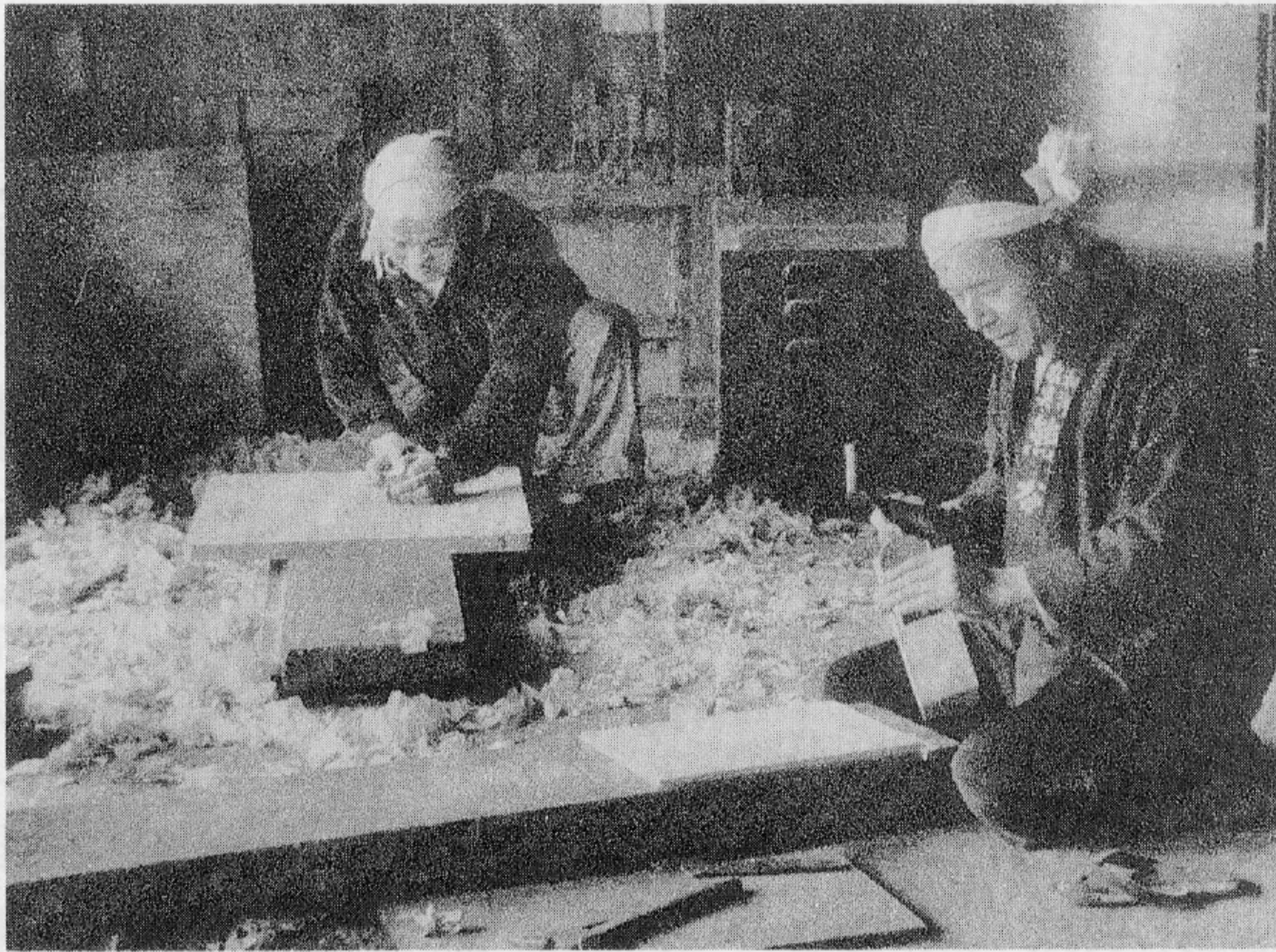
上町二丁目、元熊谷家具店  
におじゃまし、当時の模様を、  
姪代子おばあちゃんに伺って  
まいりました。

初代の多六さんが、明治三  
十五年頃に指物師として稼業

を興し、重箱、茶ダンス、戸  
棚などの製作をされました。  
本当の手作り作業で、うるし  
を塗って仕上げるまで十日以上  
もかかりました。当時の製品  
の値段は、重箱「五段重」が

約百五十円位でした。ち  
なみにその頃のお米の値  
段が、一升約二千円位だっ  
た様です。

昭和十五年頃から二代  
目の邦男さんが引き継が  
れ、私も嫁入りしてまい  
りました。時代の変遷で  
男性も着物から洋服の利  
用が多くなり、洋服ダン  
スや、洋式家具の注文が  
多くなりました。昭和二  
十三年頃から、お弟子さ  
んを入れました。当時は  
住込みの人ばかりでした  
ので、食事の世話は勿論  
衣服、日用品の支給をし  
ましたが、決った給料と  
言うものはありませんで  
した。お弟子さん達は  
「手に職を付ける」こと  
で、お小遣錢程度でした。  
昭和三十七年頃には、機  
械を導入し、手作業から、  
機械化と進み能率を上げ  
ましたが、昭和四十年に  
入り、職人さんの独立を  
期に家具の仕入、販売だ  
けになっていったそうで  
す。



初代多六さんと、二代目邦男さんが：昭和十五年頃



▲家業のハッピーにも「会地商工会」の文字が見える

▲昭和二十三年頃 お弟子さん達と



平成七年度 各種表彰者紹介

本年度は、商工会法が施行され、三十五周年の節目という事で、長野県商工会連合会では、県青連・県婦連結成三十周年と併せて、去る十月二十六日に長野市で記念式典を挙行了しました。

その席上において、永年にわたり商工会及び、青年部・婦人部に貢献された方々が表彰され、当商工会では次の皆さんが受賞されました。(敬称略)

◆関東通商産業局長表彰

役員功労者 林 忠重

◆長野県知事表彰

優良商工会

阿智村商工会

◆県連会長表彰

役員特別功労者

園原峯正

役員功労者

田中嘉治 井原忠亮

原 謙次 林 鎮雄

新井秀和 中島植允

塚田 宏 渋谷秀逸

征矢健一

婦人部功労者 橋本貞子

田中カズ子

# 有意義な「遠山郷」での一日

林 きぬ

肌寒さを感じる九月十二日。例年の婦人部視察研修が行われました。

本年は遠方を止め、県下南部の地理を深めようと三遠南信自動車道計画の一端である矢筈トンネルを通り、しりびそ高原・和田城・老人ホーム遠山荘・南信濃村婦人部との交流・阿南陶芸体験館と多忙なコースでした。矢筈トンネルを出ると細く曲りくねった険しい道でした。名ドライバーに恵まれ車酔いの人も無く無事着きました。

吸い込まれる様な深い谷、目前の南アルプスは



「遠山荘」での交流会

素晴らしい眺めでした。

遠山荘は村の中心部に構え広い庭と噴水にとっても暖かさを感じさせられました。丁度昼時にて入居者の方々とデイサービスの人達が昼食をとっていました。四方が追いかぶさる様に山に囲まれ澄みきった空の青さは格別でした。

## スポーツを通じて部員のつながりを

下原 照子

バレーボールは苦手な自信のない私でしたが、根からのスポーツ好きと、やる気だけは人一倍あり、早速参加。やさしいタッチのボールで、いい汗を流し、こちち良い疲れを感じ一回目は終わりました。

三、四回の練習で、多くの会員の協力、橋場さんの指導のおかげで、なんと二チームが郡大会に参加しました。初めての試みなので、似たりよつたりのチームかなと思いい、一日を楽しみつもりで参加したところ、スピード感、ボールの強さは目をみはるものでした。

来年度に向けての練習はき



ボールのゆくえは？

南信濃村婦人部の暖かいもてなしで昼食を頂き、阿南陶芸体験館へ行きました。

数人の先生方にロクロでの個人指導を頂き、オリジナル陶器を造り皆、大満足でした。ハードな一日だったけれど深味のある一日研修でした。三十一名という多くの人が参加出来大変良かったと思います。

阿智祭には、今年もおやき、おでんのバザーで参加し、その売上金の一部を、村の「幸せ基金」へお届けすることができました。

今年度の事業も下条村との合同研修会だけとなりました。今回は下条村が当番で、一月十八日に講師は『お母さん尼僧の小林良正さん』で計画されてますので、大勢のみなさんのご協力をお願いします。



売上の一部を福祉団体へ

## 「歴史の道」学ぶ倶楽部発足

長野、岐阜両県にまたがる東山道や中山道にまつわる歴史や物語、食文化などを改めて掘り起こし、再び脚光を当て、全国に発信し、楽しく学んでもらおうと、「歴史の道、楽学楽遊倶楽部」が本年七月発足した。

商店主らが、長野、岐阜県境をまたいで広く手を組み、地元の魅力を紹介していくのが特徴だ。

母体は岐阜県の中津川市、長野県では当阿智村を始め清内路村、南木曾町、山口村の隣接五市町村の商工会が中心になって設立された「歴史の道推進協議会」。

協議会の計画では、東山道、中山道、清内路古道など歴史の道を対象に、案内表示板を設置するほか、「遺跡」「文学」「食文化」など項目別のガイドブックの作成、マラソン、論文募集、ツアーなども開催する。

また、趣旨に賛同した全国の会員に、ニュースや項目別のガイドブックを送り、ホテル・旅館などの宿泊施設、文化施設、加盟ショップの紹介、各種イベントの案内などもする考え。

年会費は個人三千元、法人一万元。問い合わせは阿智村商工会（0255-131134）へ。

# 商工会の発展に大切なことは

## 会員の意識高揚

商工会では、二十一世紀に向けて時代の変化に的確に対応する新しい商工会への変革を目指し、「商工会チャレンジ21行動計画策定事業」への取組みを始めました。以下は、その第一段階として商工会員の要望を把握するため実施したアンケート結果の内容である。

このアンケートは七月に商工会班長以上の役員を対象に配布回収したもので、配布数八十八枚、回収数三十四枚、回収率三八・六％であった。また、商工会の発展のため今後、大切なことは何か(図④参照)では、会員の意識高揚との回答が最も多く、つづいて行政との連携強化、さらに、役員のリーダーシップ、地域振興事業の充実、一般事業の充実が同数で続く。

商工会では、総務部を中心

とした、行動計画策定委員会がこのアンケート結果を参考に、今後十年間(平成八年度から十年度を第一期とし、三年毎に見直しを行う)の商工会のビジョンづくりを検討中である。

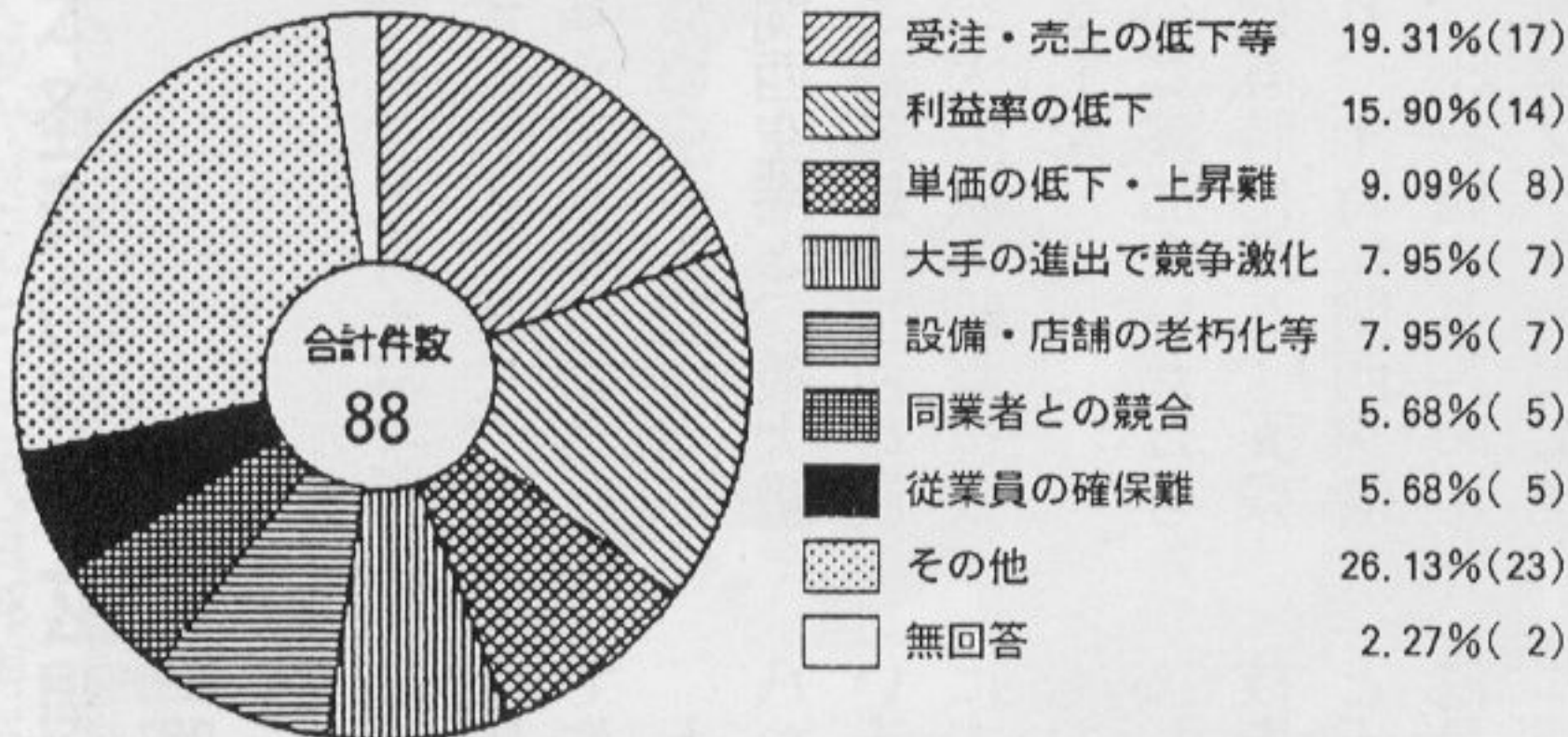
アンケートの質問項目は十七項目の多岐にわたったが、今回はその主なものだけ取り上げ図表からわかることを要約してみる。

まず会員が直面している経営上の問題点(図①参照)は受注・売上の低下、利益率の低下、単価の低下等である。今後の経営上の重点課題(図②参照)としては、技術力の向上、設備向上・店舗増改築、営業力・サービス充実、販路開拓・拡大、事業分野の拡大、経営管理の充実、労働力・人材の確保、その他、無回答。

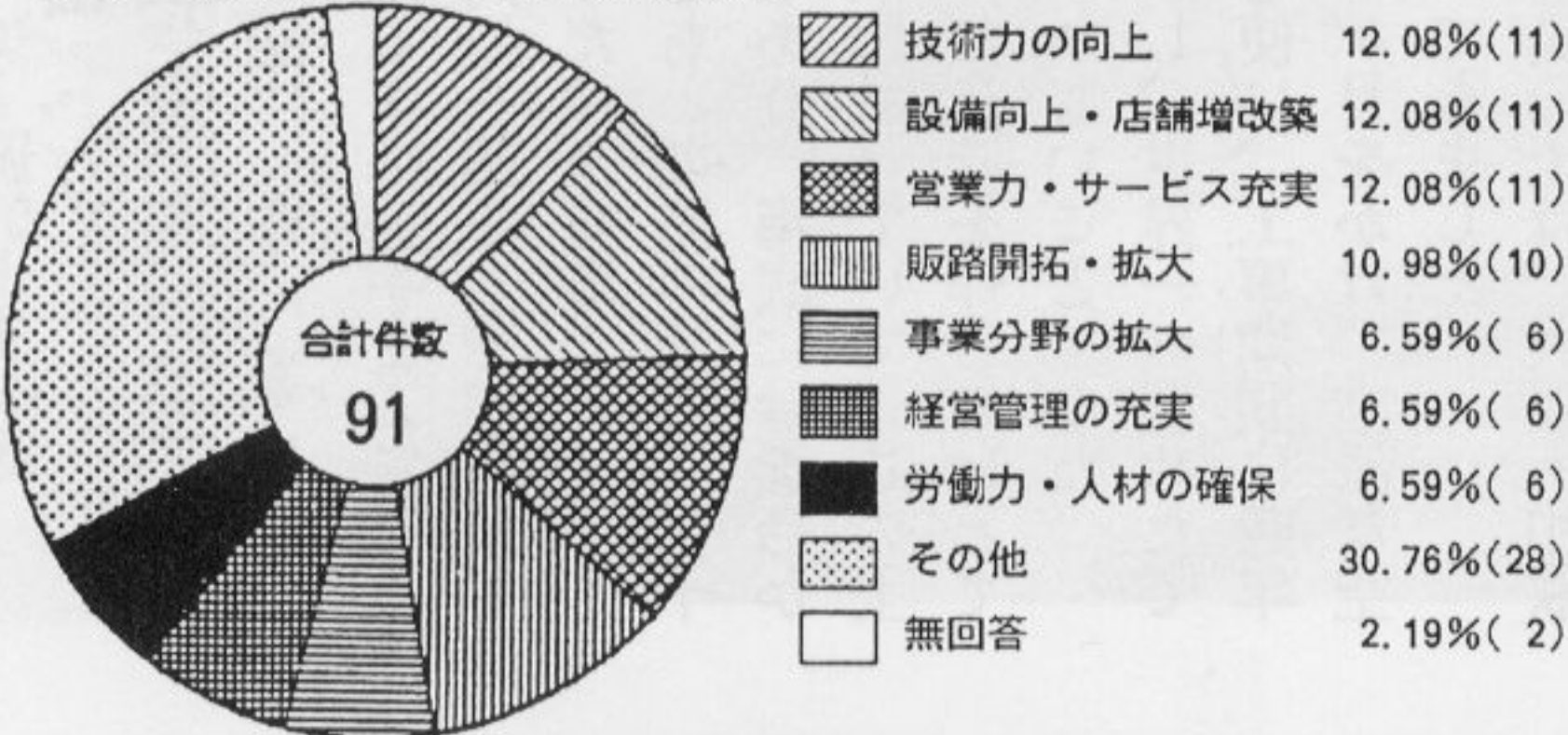
このような問題・課題の中で、会員が商工会の活動に期待すること(図③参照)は、まず、経営相談指導、経営情報提供、事務代行、地域振興事業の充実、一般事業の充実、経営改善普及事業充実、組織基盤の強化、その他、無回答。

〔商工会行動計画アンケート結果〕

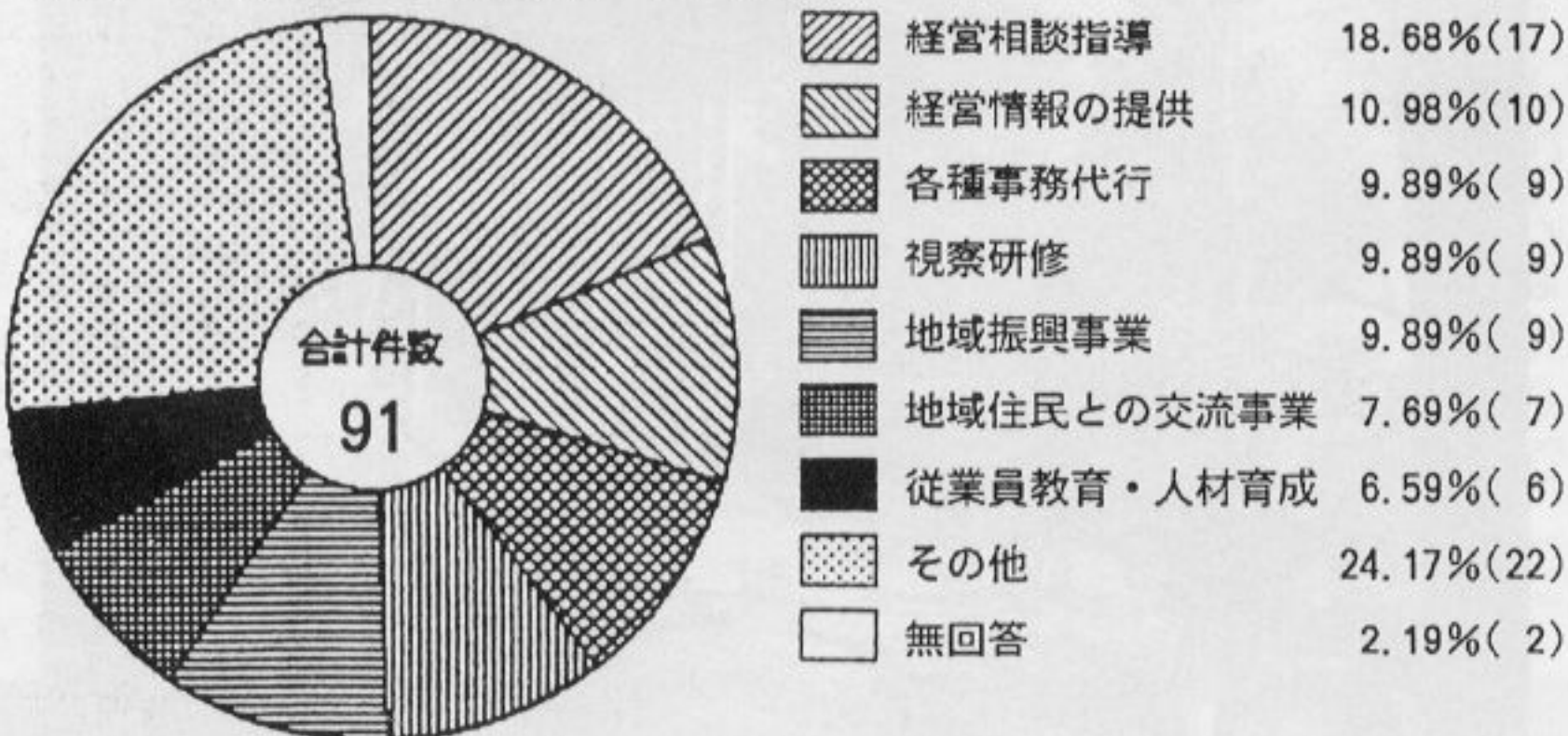
(図-①)経営上の問題点



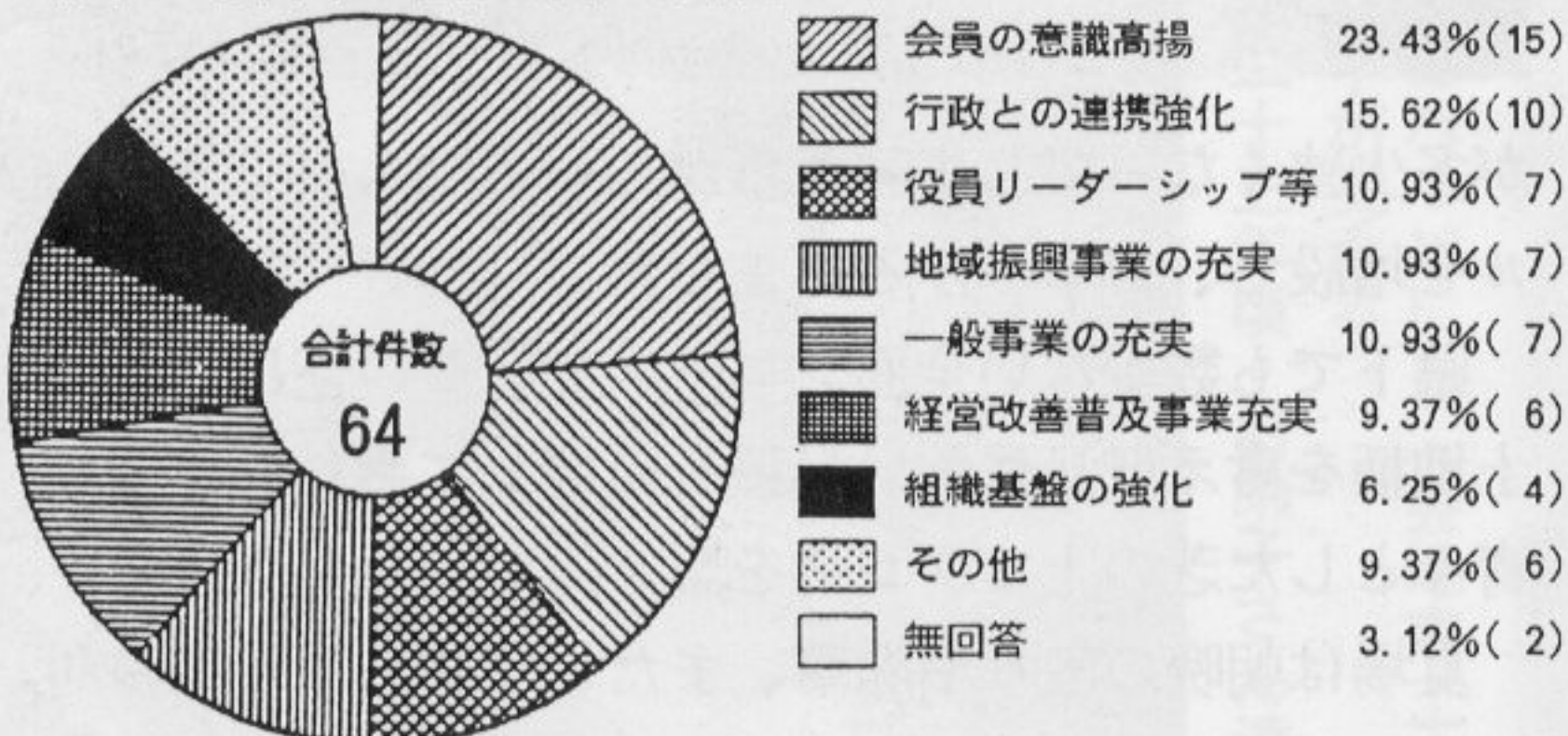
(図-②)経営上の重点課題



(図-③)商工会活動への期待



(図-④)商工会発展に大切な事



### 接客マナー

#### 講習会のお知らせ

恒例となりました接客マナー講習会の日程が決まりましたのでお知らせします。

講師には、NHK文化センター常任講師、社員研修講師の藤山邦子先生をお迎えしてお話をいただきます。

日時 平成八年二月七日(水)  
午後一時三〇分

場所 昼神温泉観光センター二階会議室

テーマ 「接客と売上向上につながる顧客満足とは」

講師 藤山邦子  
なお、受講料は無料です。



藤山邦子先生

# 日本経済の空の玄関口

## 関西国際空港を見学

経済部長 田 中 嘉 治

経済部では、九月十日・十一日と一泊二日の日程で、開港してちょうど一年目にあたる日本経済の空の玄関口である、大阪関西空港と、最大級と云われる海遊館、神戸の震災被災地、大阪城の研修視察を実施しました。

十二名のご参加をいただき第一日目は五時出発し、天候にも恵まれ、十時に関西空港に到着し、十一時より「わくわく関空見学プラン」に参加しました。



関空での見学風景

腕章やイヤホンセットを借りし、待合室での説明と、VTRの上映を見ました。関西国際空港は、陸地から五km離れた場所で、二十四時

間使える空港にするために、大阪湾の一部を土で埋めたてで作った海上空港です。

ももとの海の深さは、十八mもあり、海底には柔らかい土がたまっている、この上に丈夫な空港を作るのはとてもむずかしいことでした。

しかし、世界一の埋めたて技術を使い、工事期間に四年と十一ヶ月をかけ、立派な空港島ができました。

空港島の土は、大阪・和歌山・淡路島から船で運ばれ、一度に三十三機の旅客機が着陸でき、また、左右の長さは千六百八十mにもなり、さすがに日本の技術の高さに感嘆しました。

関西空港の視察を終え、神戸の復興途中の被災地を視察し、その日は神戸に一泊しました。

二日目には、最大級と云われ、森林の最も上流の川魚から海の魚まで広範囲にわたる海遊館や、大阪中心部にそびえ立つ大阪城を見学し、無事所期の目的を果たすことができました。

## 企業探訪

No. 29

### 木槌の森マレットゴルフコース

コースの修理作業にお忙しい中、代表者の小笠原さんにお話を伺いました。

- <代表者> 小笠原正敏
- <創業> 平成元年
- <事業内容> マレットゴルフ場
- <概要> 全面芝コース (27ホール)・バーベキュー設備

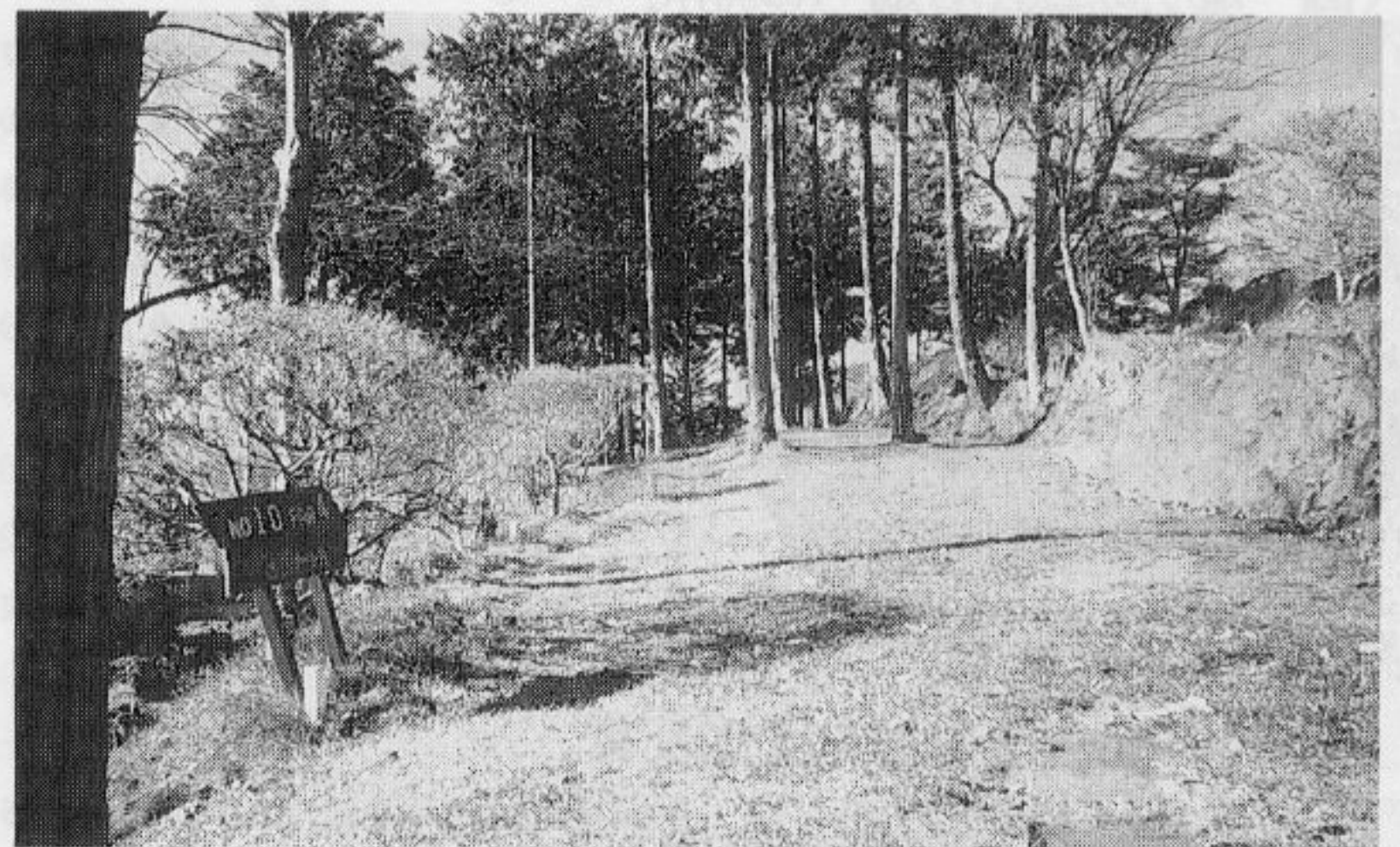
小笠原さんは、それまで荒らしていた自宅裏の畑を、何とか有効活用できないものかと考えていたところ、隣村のマレットゴルフ場の話が耳に入りました。

当時、下伊那地区ではマレットゴルフはまだあまり普及していませんでしたが、趣味でゴルフをしていた事もあり一大決心をして、昭和62年より造成を始めました。

造成の際には、以前測量会社に勤めていた経験や、ゴルフの経験を活かし、コースのレイアウトを考えました。

約2年を費やし、単独で18ホールを設備し、平成元年に開業しました。

しかし、当コースは丘陵地を造成した為、コース幅



が多少狭くなってしまった事があり、間もなく9ホールを増設し、27ホールとしました。

県下でも数少ない全面芝コースで、その芝にしても土地柄を考え低温に強い品種を使用しており、冬でも青々とした芝の上でプレーを楽しんでいただけます。

夏場は朝晩の散水や除草、また、年間を通じての刈り込み等には大変神経をつかっており、芝についてはかなりのこだわりを感じます。

隣接したバーベキュー場も材料等の持ち込みも可という事で気軽に利用できます。

現在では、地元の方はもちろん、わざわざ県外から来るお客様もあり、南信地区・上下伊那地区等の大会も開催されています。

今後も、より多くのお客様に喜んで利用していただく為に、近々、36ホールに増設する予定があり、完成が期待されます。

# 産業構造変革のうねりの中で

## 産業懇談会

工業部の本年度事業でもある産業懇談会が、十一月二十七日に開催されました。

バブル崩壊後、企業はリストラをすすめ、また、海外へ活路を見出し、日本から産業が無くなつていく状況が続いています。

一方、規制緩和による保護的制度から、独立独歩の企業運営をせまられる中、日本の産業（産業構造）は大きく変わろうとしています。

そこで、世の中の産業の動きや、地元企業の最近の状況を互いに知る情報交換の場として、この産業懇談会を設定しました。

最初に、飯田信用金庫の伊原常務理事に「飯伊地区の経済・産業動向について」、県中小企業総合指導所の吉川企業診断員に「産業構造変革のうねりの中で」と題し、基調講演をお願いした後、懇談会に移りました。

世の中は今、農業・商業・工業・観光というジャンルで物事を区分けする事が、なかなか出来ない状況です。巾広い業種の方々に参集い



多くの情報交換がされた懇談会

ただき、情報交換をするという事で、工業懇談会ではなく「産業」懇談会と銘打ちました。

懇談の中ではアドバイザーとして、講師二名と、地方事務所商工課の田中課長補佐、役場商工観光課の勝野課長、商工連南信支所の渡辺支所長をお願いしました。

予想どおり、村内企業も、産業構造変革のうねりの中で方向転換や、体質改善をしている企業、また、将来的にすすめていく企業等、多くの情報交換を仕合いました。

戦後五十年、政治・経済・社会の機能や機構が制度疲労を起こしている今日、それぞ

れの企業も「日本丸」の行方に関心を持ち、自らも企業を見直す良い機会であったと思います。

### 待たれる全線開通と

#### その波及効果は

建設部長 林 鎮雄

建設部の視察研修が、去る十一月二十二日に実施され、紅葉も終り、いよいよ年の瀬間近、正副会長さん始め、ほとんどの部員参加の中、山梨県のリニア中央新幹線の視察に出発しました。

約二時間三十分ほどで現地に到着し、(財)鉄道総合技術研究所の橋本所長さんより、リニアモーターカーについての説明を受けました。

計画の始まりは、昭和三十七年リニアモーターカー推進



説明を受ける参加者



高速道路の上にかかる高架橋

浮上式研究開始、昭和四十七年時速六十kmで初めての有人十cm浮上走行に成功しました。

昭和五十二年七月には、宮崎実験線で逆T型ガイドウェイを使った走行実験が開始され、その後、何回かの実験を重ね、昭和六十二年二月に有人走行で時速四百・八kmを達成し、現在も研究が行われています。

現地では、急ピッチで建設が進められているプラットフォームも見学しました。

東京―大阪間の五百kmが所要時間一時間で結ばれ、平成九年には、走行試験が開始される予定で、機会があれば再度視察を行いたいと思っております。

全線開通には、三十年後が予定されていますが、中央リ

ニア新幹線のもたらす波及効果は、利用者に対する時間短縮や、沿線地域の活性化など大きな期待が考えられます。今回の視察研修を通して、部員各自の自覚と、商工会の発展につながる点が見つかったのではないのでしょうか。



Face to Face

みんなのために、ひとりのために  
**SHINKIN BANK**

# 「商工貯蓄共済」推進にあたり

厚生部長 岡本 祐治

商工会役員及び、厚生部員によりまず、商工貯蓄共済の推進も、当初の目標を上まわる大勢の方々に加入して頂き二百八十五口という素晴らしい結果を生む事が出来ました。これも、会員の皆様方の御理解と、御協力の賜と深く感謝申し上げます。

商工貯蓄共済は、一口二千元の積み立て定期をしながら資金の蓄積はもとより、一口に付、百万円の融資の斡旋を受けられるという利点や、生

命の保障等、三つの特色を組み合わせた共済です。

最近では、従業員の積立や補償に、また、退職金に充当する方々が多くなりました。

会員と商工会のつながりを密接にしなが、商工会の組織を強め、事業活動の財源にもなります。

会員の皆様の御理解を賜り、多くの方々の御加入を切にお願い申し上げます。

## 貯蓄共済の満期を迎えて

藤倉 邦子

「この度は、満期を迎えられおめでとうございます。」と、会長さんがわざわざ足を運んで下さいました。

「もう十年も過ぎたのだ」思えば、あの残暑の厳しかった日、昼休みに四、五人の推進委員の方々が来て、共済の説明をしてくれました。「わずかな掛金で保障があり、貯金にもなるから。」と勧めていただきましたが、その時は満期になるまでの十年が、とても長く感じられました。

しかし、推進で来てくれた方々は、顔見知りばかりで、結局、半分義理で加入することになりました。

加入の時に長く思えた十年が過ぎ、今年満期のお知らせをいただいた時は、あの時勧めてくれた役員さんにお礼を言いたい気持ちになりました。

最後に、商工会員の安全と安定した生活保障を考え、努力して下さっている推進委員の皆様へ感謝申し上げます。

## 新春講演会・新年総会のご案内

恒例となりました新春講演会と新年総会の日程が決まりましたのでお知らせします。講演会の講師にはNHKテレビ「生活笑百科」での気さくな解答と笑顔が評判の弁護士、三瀬 顕（みせけん）先生を迎えてお話をさせていただきます。

この講演会は、商工会員以外の方でも聴講できますので、気軽にお越し下さい。なお、講演会終了後は、引続き会員新年総会を行いますので、併せてご出席下さい。

日時 平成8年1月12日(金)  
午後1時15分  
場所 阿智村商工会館 2階大会議室  
テーマ 『商工業者のための身近な生活笑百科』



三瀬 顕 先生

講師 三瀬 顕（弁護士）  
＜講師プロフィール＞

昭和15年1月19日愛媛県大洲市生まれ。昭和38年中央大学法学部卒業。実業家のボンボンだったが、父の倒産で小学生で両親と別れた後、寺に預けられ高校までを過ごす。その後、先輩を頼って上京。1年間働いたあと、中央大学の法学部へ。昭和39年10月司法試験に合格。昭和40年4月最高裁判所司法修習生に採用され、昭和42年3月同修習を終了。昭和42年4月、弁護士登録し、現在に至る。とりわけ、NHK「生活笑百科」の出演で、その名と顔が広く知られるところとなる。他にABCラジオ「パノラマ大放送」、毎日テレビ「八方の4時はおまかせ」など各局のテレビ・ラジオに出演。一方、府市町村、PTA、各種団体主催の講師として活躍。磊落（ライラク）で無類の人情家、永遠の文学青年、ゴルフもうまいが、囲碁はもっと上手で5段の腕前。笑顔が評判。

## 編集後記

◎東に山梨の、「リニアモーターカー実験線工事現場」。西に、「関西国際空港」。北には、「上越ウイングマーケット」。と時期を得た研修視察が実施された。新しい時代への意気込みを……そこに働く人達から、広い分野において感じたことだろう。

◎未曾有の阪神大震災の復興も、地元の人達の強いきずなと努力によって、回復に向っている。喜ばしい事であり陰ながら声援を送ろう。

◎その反面……暗いニュースばかりの国内外の一年であり景気の先行きにもほのかな灯が……と思っていたら、元大臣の逮捕で年越しか//なんとすることができた。

◎先月、ある会合で吉村県知事が「今の景気は、ゴルフのホールインワン景気と言われている」と話された……？そのココロは「パットしない」である……。来年こそ「パット、パットする景気」を取り戻したいと願う気持ちは……無理だろうか？

会報編集委員長

荒井 利典